JDMCのミッション・ビジョン・バリュー（ステートメント）

普遍的なミッション

データマネジメントの実践を通じ、
データからの価値創出と社会課題の解決に貢献する

3年後に目指す姿 ビジョン

- 日本企業・組織のデータドリブン経営、データ利活用によるビジネス創出とイノベーションの推進
- データマネジメントに関わる人材の社会的地位向上

提供するバリュー

データマネジメントの実践によりデータ利活用のビジネス成果を享受できた取り組みの軌跡
（進め方、失敗・成功体験、そこから得た知見、等）を結集し、それらを体系化する

会員のデータマネジメント実践力向上「会員への実践事例の提供」		国・産業界全体のデータマネジメント実践力向上「実践力の体系化と提供」
① 実践事例（新技術含む）の情報発信 ○ 実践的な取り組み事例を収集 ○ カンファレンス・セミナー等での実践に有益な情報提供 **② 実践事例の評価・ブランディング** ○ 収集事例の客観的評価、Good Pointの抽出 ○ 高評価事例の表彰による取り組みモチベーション向上 **③ 研究会・コミュニティ活動** ○ 会員に関心の高いテーマで自社に持ち帰れる研究会（非構造化データのDMなど） ○ 異業種交流ができる活発なコミュニティの場の提供	**④ 実践事例に基づく“気づき”の体系化** ○ 収集した実践事例を整理・分類 ○ 得られた教訓やアプローチ方法を体系化し、企業が実践できるティップスを提供 **⑤ 成熟度を高めるためのメソッドの提供** ○ データ利活用に向けたデータマネジメントの組織成熟度を診断し改善の方向性を示すことで実践を後押しできるツールの開発・提供	**⑥ データマネジメント人材像・スキルの定義** ○ JDMCが考えるデータマネジメントに関わる人材像と持つべきスキルの定義 ○ 国のデータマネジメント人材像定義や育成制度の創設等への連携的支援 ○ 関連団体と連携した共同セミナーの企画・開催、市場調査への共同参画